

冬の風物詩 ストーブ列車の魅力をぜ～んぶ紹介しちゃうよ！

(ケロちゃん) わーい、津軽半島観光アテンダントのお姉さんたちだ。ストーブ列車に乗るのははじめてだから、アテンダントさん案内してケロ～。

(アテンダントさん) おはよござ。よく来たね～。ストーブ列車は、12月1日から3月31日まで、津軽五所川原と津軽中里の間を一日3往復します。時刻表は、津軽鉄道のホームページに載ってるはんで確認して下さいね。それから、ストーブ列車料金として300円をいただいています。

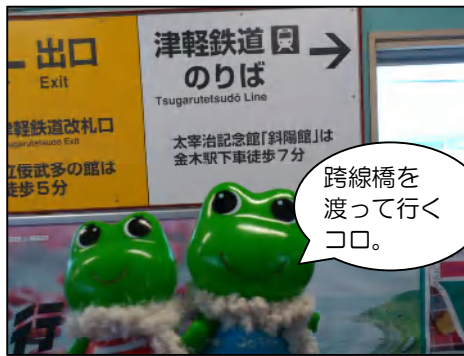
(コロちゃん) ストーブ列車はどうやって動いているコロ？

(アテンダントさん) DD350というディーゼル機関車が、客車のオハフ33とオハ46を引いています。客車は昭和23年製と29年製の2両で、民鉄では大井川鐵道と津軽鐵道にしか残っていないの。

(ケロちゃん) 1両に2つずつダルマストーブがついているよ。車掌さんが石炭を入れているケロ。車内では、小泊産のスルメ(300円)、地酒のストーブ酒(300円)、つくねもちチップス(300円)、リンゴの餡入りのストーブどらやき(150円)も販売しているケロ！

(アテンダントさん) コロちゃんのスルメを焼いてあげるね。細かく裂くと食べやすいのよ。

(コロちゃん) 外は吹雪でも車内はもう春。あっちちちい～。ストーブの周りは夏真っ盛りだコロ～。



詳しいことは、津軽半島観光アテンダントブログを見てコロ。とっても楽しいし！

*「応援ニュース」では、ケロちゃんコロちゃんの応援活動の様子をお知らせします。
*バックナンバーは、日本民営鉄道協会のホームページ「地方民鉄応援プロジェクト」でご覧いただけます。